

ランチポット

GH-KLBAシリーズ取扱説明書
Ver. 1.0

安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

警告 下記事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

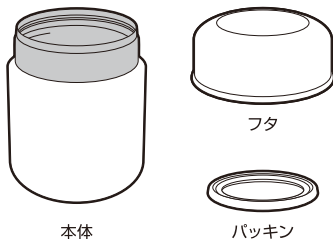
注意 下記事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。

- 食品を保存する目的以外に使用しないでください。
- 高温の食品の取り扱いには、十分に注意してください。(やけどのおそれがあります)
- 食品を保存する際は、フタを取り外し、本体を垂直に立て、安定した状態で行ってください。(製品の破損、やけどのおそれがあります)
- 保存する食品の分量は、噴出や飛散を防ぐため、本取扱説明書に示す位置以下(約240cc)にしてください。(食品の漏れ、やけどのおそれがあります)
- 食品を保存したあと、フタは確実に閉めてください。(食品の漏れのおそれがあります)
- フタを閉める前に、パッキンが確実に装着されているか、キズや汚れがないか確認してください。(食品の漏れや腐敗のおそれがあります)
- 不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所など、不安定な場所に置かないでください。(製品の破損のおそれがあります)
- 熱器具の近くや直射日光の当たる場所など、温度の高いところに置かないでください。(製品の破損、食品の腐敗のおそれがあります)
- 分解や改造をしないでください。(食品の漏れや腐敗、ケガのおそれがあります)
- ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。(製品の破損のおそれがあります)
- 落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。(食品の漏れや腐敗、ケガのおそれがあります)
- 持ち運びの際は、本体を垂直に立てた状態を保ってください。(食品の漏れのおそれがあります)
- 電子レンジでの調理はしないでください。(製品の破損のおそれがあります)
- 冷蔵庫で保存しないでください。(製品の変質のおそれがあります)
- 本製品に抗菌作用、除菌作用はありませんので、保存した食品は、できるだけ早く召し上がってください。(食品の腐敗、食中毒のおそれがあります)
- 食品を保存したまま放置しないでください。(製品の変質、食品の腐敗のおそれがあります)
- ドライアイスや炭酸飲料、発酵途中の食品は保存しないでください。(製品の変質、ケガのおそれがあります)
- 使用後は、必ずきれいに洗ってください。(製品の変質、食品の腐敗のおそれがあります)
- パッキンは定期的に洗ってください。(製品の変質、食品の腐敗のおそれがあります)

- お手入れの際は、食器用洗剤を使用し、溶剤や強力な洗剤は使用しないでください。(製品の変質や破損のおそれがあります)
- お手入れの際は、やわらかいスポンジを使用し、金属たわしや磨き粉、クレンザーは使用しないでください。(製品の変質や破損のおそれがあります)
- こびりついた食品は、水を含ませてやわらかくしてから取り除いてください。
- 煮沸しないでください。(製品の変質や破損のおそれがあります)
- 食器洗浄機や食器乾燥機を使用しないでください。(製品の変質や破損のおそれがあります)
- ニオイの強い食品を保存すると、本体やフタにニオイが残る場合がありますが、製品の品質に問題はありません。
- 保存する食品によって、本体やフタに色移りする場合がありますが、製品の品質に問題はありません。
- 長期間使用しない場合は、きれいに洗ってから十分に乾かし、高温多湿を避けて保管してください。

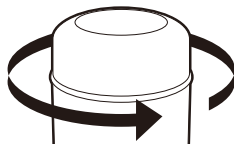
■各部名称

ご使用前に、各部品が揃っていることを確認してください。



■ご使用方法

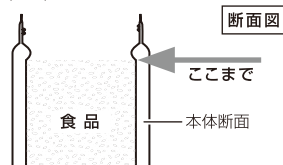
- ①フタを取り外す
矢印の方向に回します。



- ②食品を入れる

保存する食品の分量は、下図の位置以下(約240cc)にしてください。入れすぎると、フタを閉める際に食品がふくれ、フタを確実に閉めることができなくなります。

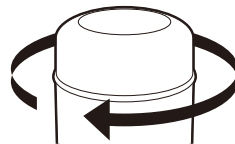
※事前に少量の熱湯(冷水)で1分程度予熱(予冷)すると、保温(保冷)に効果的です。



- ③フタを閉める

本体を垂直に立て、安定した状態で、フタを矢印の方向に回します。

※閉めたあとは、フタが確実に閉まっていることを確認してください。



- ④フタを開ける

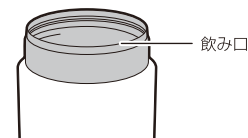
1. 本体を垂直に立て、安定した状態で、フタを矢印の方向に回します。

※高温の食品では、フタを開ける際に飛散したり噴出する場合がありますから、やけどなどに十分に注意してください。



2. 保存した食品を、スプーンなどですくうか、飲み口に直接口をつけて食べます。

※高温の食品では、飲み口が高温になっている場合がありますから、やけどなどに十分に注意してください。



⑤ 食べ終わったら

本体を垂直に立て、安定した状態で、フタを矢印の方向に回します。

※金属製のスプーンなどを本体の中に入ると、衝撃により製品が破損する場合がありますから、本体の中に入れないでください。



■ パッキンの着脱方法

① パッキンの取り外し方

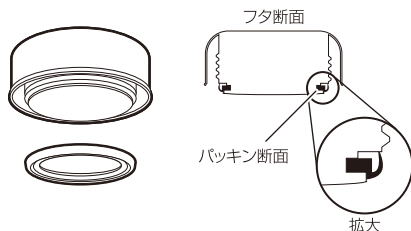
破損しないように十分に注意し、爪楊枝などでフタの溝から取り外してください。

※パッキンを破損した場合は、ご購入店、または、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

② パッキンの取り付け方

上下を確認し、溝へ均一に取り付けてください。

※パッキンにキズや汚れ、変形がないか確認し、異常が見られる場合は、ご購入店、または、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



■ 製品仕様

部品名	材料の種類
本体外側	ステンレス(SUS304)アクリル樹脂塗装
本体内側	ステンレス(SUS304)
フタ外側	ステンレス(SUS304)アクリル樹脂塗装
フタ内側	ポリプロピレン
パッキン	シリコンゴム

樹脂製部品はすべて食品衛生試験済みの樹脂を使用しています。

■ こんなときは…

わからないことがありましたら、以下の項目をご確認ください。

不具合	原因	対処方法
飲食物が漏れた	フタが閉まっていない	フタは確実に閉めてください
	フタが閉まらない	食品の分量は、本取扱説明書に示す位置以下にしてください
	パッキンが外れている	パッキンは正しく取り付けてください
本体の汚れ	食品がこびりついた	水を含ませてやわらかくしてから取り除いてください
	斑点状の赤いサビが付着している	水や食品に含まれる鉄分などが付着したものですから、重曹やクエン酸を薄く溶かした液で洗ってください
	ガラガラしたものが付着している	水や食品に含まれるカルシウムなどが付着したものですから、重曹やクエン酸を薄く溶かした液で洗ってください
保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)食品を入れていない	あらかじめ本体内側を予熱(予冷)し、熱い(冷たい)まま食品を入れてください
	食品の分量が少ない	食品の分量を多くすると密封性が高まり、効果的です
悪臭がする	食品が残っている	きれいに洗い、十分乾燥させてください。悪臭が取れない場合は、重曹やクエン酸を薄く溶かした液で洗ってください
パッキンの汚れ	汚れが付着している	きれいに洗い、十分乾燥させてください。汚れが取れない場合は、重曹やクエン酸を薄く溶かした液で洗ってください
	カビが付着している	重曹やクエン酸を薄く溶かした液で洗ってください。カビが取れない場合は、ご購入店、または、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。
食品が腐敗した	食品を長時間入れている	長期間の保存はできませんので、季節や天候、食品にもよりますが、できるだけ早く(6時間以内)召し上がってください
	生ものや乳製品などを入れている	生ものや乳製品など、変質や腐敗しやすい食品は入れないでください。

ご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」やFAXでお問い合わせください。

■ お問い合わせ

サポート窓口	グリーンハウス テクニカルサポート
テクニカルサポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00~12:00/13:00~17:00 (土日祝日をのぞく弊社営業日)
FAX	03-5421-2266 (24時間受付)
ホームページ	http://www.green-house.co.jp/

※本書の著作権は弊社に帰属し、内容の一部または全部を無断に転載することを禁じます。※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。※本書に記載の会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。